

## 活動報告

団体名	学校法人濱名学院 関西国際大学
活動名	ボランティアセンター運営支援ならびに被災者生活支援活動
活動期間	2018/09/11 ~ 2018/09/17
活動の成果	<p>家屋下の泥出しでは、大学生の若い力を活かすことができました。</p> <p>災害ボランティアセンターでは、初日と2日目での現地での活動経験を活かしながら、未経験の方や不安を抱えている方々に的確なアドバイスや元気づけを行い、活動に送り出すことができました。また、スタッフと連携を取っていくことでよりスムーズな運営ができました。</p> <p>避難所では、人数が減り残っておられる方の不安や寂しさに寄り添い、少しでも癒しの時間を提供できたと思います。</p> <p>仮設住宅では、コミュニティが分断され、孤立しがちな住民の方々に少しでも元気づけ、コミュニティ作りの一助になれたと思います。</p> <p>今後日本各地で災害が起きることが想定されるなか、社協職員に限らず、災害ボランティアセンター運営業務を担う地域人材の育成が求められています。今回の体験を普遍的なものとして位置づけ、まとめ、公開シンポジウムに登壇したり、授業の時間を活用して学生へ報告するなど、災害を「我がごと」として感じ、理解していただくため、福祉教育の視点からも引き続き活動を行っています。このように今回の活動による経験値が今後の地域防災力・災害対応力の向上に貢献していけると考え実践していきたいと思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、お力添えをいただき、ありがとうございました。</p> <p>今回の活動は、被災者の皆様への貢献だけでなく、このような辛い状況下でもそれでも前向きにがんばろうとしている住民の皆さんに逆に元気をいただけた活動でもありました。ボランティア活動は人と人がつながり、双方が元気になってこそだと思います。そういう意味においても貴重な経験をさせていただきました。近年、学生の経済状況は厳しいものがあり、ボランティア活動をしたいと思っても金銭面で活動を断念することも多いのが現状です。そういったなかで、皆様のご寄付が学生への後押しとなり、貴重な体験をさせていただくことができました。これから日本はもちろん、地球規模で様々な災害が起こると想定されます。このような時代にあって、次代を担う若者達が社会に貢献するボランティア活動をさせていただけたこと、そして災害支援の現場に携わらせていただくことができたことは、今後の社会にとって大きな意義があると思います。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

